

実教出版「基本簿記 改訂版（第2刷）」本文記述更新のお知らせ

本書第2刷におきまして、下記ページ記載内容の更新（修正）を行いました。本書第1刷をお持ちの皆様には大変お手数ですが、更新内容をご参照の上、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

ページ	箇所	第1刷（旧）	第2刷（新）
p.13	側注①	① 期首と期末の繰越利益剰余金（純資産）を比較して、一会計期間の純損益を計算する方法を 財産法 という。財産法に対して 損益法 という計算方法もある（p.15参照）。	① 期首と期末の純資産を比較して、一会計期間の純損益を計算する方法を 財産法 という。財産法に対して 損益法 という計算方法もある（p.15参照）。
p.38	8行目	る勘定に振り替える。	る勘定に振り替える ^① 。 (側注欄に側注①追加) ① ある勘定の金額を他の勘定へ書き移すこと。振替については、p.102で詳しく学習する。
p.73	第8節1 2行目	税金には、利益に対して課される	税金には、所得 ^① に対して課される (側注欄に側注①追加) ① 税法は、各年度の収益や費用の計算について制約を加えているので、決算の結果算出された純利益がそのまま所得とはならない。
p.73	税金の種類 囲み	利益に課税される税金	所得に課税される税金
p.73	側注番号 (本文、側注)	(側注①追加による番号の変更) ①、②、③	②、③、④
p.129	仕訳囲み 3行目	支払額が決定した。	支払額と利益準備金の積立額が決定した。
p.132	例題2 入金伝票	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>入金伝票 No.21</p> <p>01年10月9日</p> <p>(売 上) 50,000</p> <p>小樽商店</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>入金伝票 No.21</p> <p>01年10月9日</p> <p>(売 上) 50,000</p> </div>